

日本學研究叢書 26



「漱石と〈時代〉—没後百年に読み拓く—」

范淑文 編

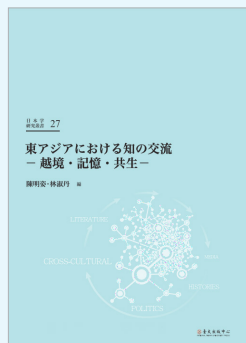
即使歲月流逝依舊受到廣大讀者喜愛的作家著實有限，明治時期的大文豪夏目漱石便是其中一個好例子。誕生於日本近代化告一段落的 20 世紀初頭的漱石文學，切實地描繪出當時的社會問題、反映當代的思潮以及作家自身的苦惱，因此，涉及許多隱喻表現且意義深遠。

然而，歷經時代的變遷，無形之物也將變得可視。超越時代身具不同價值觀的讀者及處於不同空間下的異文化讀者們，採取與當時不同的觀點來解讀文本之時，便能無限得出新的見解吧。本書以向 21 世紀傳遞百年漱石文學的訊息為方針，以新的視角、觀點來開展新的解讀，為一劃時代的力作。◆

歲月經過其作品也依然廣受愛讀的作家是限定的。明治的大文豪夏目漱石はその好例である。日本型近代化が一段落した20世紀初頭に誕生した漱石文学は、当時の社会問題や時代の思潮、さらには作家自身が抱える悩みなどを切実に紡いでいる。それが故、隠喩表現も多く奥が深い。

だが、当時不可視的とされたものも時代が変われば、可視的になる。時代を越え異なる価値観を持つ読者や、空間の異なった異文化の読者は、創作時と異なった視点より読み解くため、新たな捉え方は無限にあり得るだろう。本書は百歳を超えた漱石文学のメッセージを21世紀の世に向けた指針として新たな視座、新たな捉え方で読み拓こうとする画期的な力作である。◆

日本學研究叢書 27



「東亞知識的交流：越界・記憶・共生」

陳明姿・林淑丹 編

近代以降の世界，資本流動範圍逐漸擴張，在日益資訊化與國際化的同時更加速了資本的擴展。這種情形影響了人們移動與定居的分布，也帶來相當大的文化面貌改變。東亞各國語言文化雖各有不同，仍有橫跨地域、跨領域的事實，透過民族想像、科技、經濟、媒體的營造，這些跨越變成非常複雜的課題。另一方面，東亞文化圈中也有某種共同記憶和生活模式，惟近代常因政治利益而產生種種摩擦。本書從以上幾個觀點出發，探究東亞知識交流的嬗變。◆

近代以後の世界において、資本は移動する範囲を徐々に拡大し、情報化やグローバル化以後はその加速度をますます強めつつある。それは人間たちの移動と定住の布置関係に影響を及ぼし、文化変容のダイナミズムに地殻変動をもたらしている。東アジアにおけるさまざまな文化事象を考える際にも、地域やジャンルを横断する思考が求められている。個々の地域に固有の出来事と見える場合でも、それらはエスニックな想像やテクノロジー、経済、メディアを介して流布する言説などによって、重層的かつ乖離的に織り合わされている。こうした状況のもと、東アジア圏のさまざまな共同体において分有されてきた記憶が、人々の越境を通じて再編成されていくありようを考察することが、学問的に重要な課題となる。また、国家や文化の境界をめぐる摩擦や論争は今日でもなお頻繁に起きているが、そうした境界がむしろ混じりあう地点に注意を払いつつ、ともに生きるという意味での「共生」を実現していく可能性を探る必要がある。本書は、このような視点から、東アジアにおける知の交流の変容を論究したものである。◆

日本學研究叢書一覽 (1-25)

日本學研究叢書一覽 (1-25)		
1	国際日本学研究の基層—台日相互理解の思索と実践に向けて—	徐興慶、太田登 編
2	国際日本学研究の最前線に向けて—流行・ことば・物語の力—	林立萍 編
3	日本近現代文学に内在する他者としての「中国」	范淑文 主編
4	日本中世文学における儒積道典籍の受容 —『沙石集』と『徒然草』—	曹景惠 著
5	東アジア龍船競漕の研究—台湾・長崎・沖縄の比較—	黃麗雲 著
6	現代日本語造語の諸相	林慧君 著
7	転換中の EU と「東アジア共同体」—台湾から世界を考える—	徐興慶、陳永峰 主編
8	近代東アジアのアポリア	徐興慶 編
9	朱子学と近世・近代の東アジア	井上克人、黃俊傑、陶徳民 主編
10	明治日本における台湾像の形成—新聞メディアによる 1874 年「台湾事件」の表象—	陳萱 著
11	日本昔話語彙の研究	林立萍 著
12	非断定的表現「(し) そうだ」に関する語用論的考察	黃鈺涵 著
13	詩に興り礼に立つ—中井竹山における『詩経』学と礼学思想の研究—	田世民 著
14	台湾法における日本的要素	王泰升 著
15	石川啄木詩歌研究への射程	林水福、太田登 編
16	台湾に生まれ育つ台日国際児のバイリンガリズム	服部美貴 著
17	自由・平等・植民地性—台湾における植民地教育制度の形成—	山本和行 著
18	帝国日本の教育総力戦—植民地の「国民学校」制度と初等義務教育政策の研究—	林琪禎 著
19	日本統治期台湾における訳者及び「翻訳」活動—植民地統治と言語文化の錯綜関係—	楊承淑 編
20	東アジア情勢の転換とアベノミクスの影響	蘇顯揚、魏聰哲 編
21	思想史から東アジアを考える	辻本雅史、徐興慶 編
22	東アジアにおけるトランスナショナルな文化の伝播・交流—メディアを中心に—	梁蘊嫻 編
23	福島事故後台日エネルギー政策の変換と原子力協力	謝牧謙、石門環 編
24	鎖国と開国—近世日本の内と外—	辻本雅史、劉序楓 編
25	西川満研究—台湾文学史の視座から—	陳藻香 著

* 在日本欲購買本叢書請洽紀伊國屋書店。
本叢書は日本の紀伊國屋書店でお買い求めいただけます。